



# 1学年だより

第3号

## 【いよいよ体育祭！】

今月は、1年で最も大きな学校行事の「体育祭」が行われます。ここ数年、コロナ感染症により制約の多い体育祭でした。しかし、今年はパフォーマンスで校歌が復活するなど、以前のような高校生の若いパワー溢れる体育祭となりそうです。体育祭は一人ではなく、協働してみんなで作り上げる行事です。教えあったり、声をかけあったり、できないところはカバーしあったりして最高の体育祭にしていきましょう。運動が好きな人、絵を描くのが好きな人、大声を出して歌うのが好きな人、応援するのが好きな人、踊りが好きな人、それぞれ自分のできる分野で活躍してください。

## 【中学生から高校生になりましたか？】

入学して2ヶ月が経過しました。みなさん、だいぶ学校生活に慣れてきたようですね。授業も落ち着いて取り組んでいます。PTA 総会後の撤収作業も、みなさんの協力により速やかに行われました。新しい友人との交流も深まり、全体として穏やかな学校生活を送っているように感じます。しかしその一方で、まだ行動面で高校生になれていない部分も見られます。

以下の項目に自分は何個あてはまるかチェックしてみましょう。

### 「授業」に真面目に取り組んでいる

→自習は休み時間ではなく、学習に取り組む授業時間です。自分たちがワイワイ楽しく話す時間ではありません。そのような行為が周囲の学習を妨げている、迷惑をかけるということを再認識してください。休み時間と授業時間の区別、「オン」「オフ」の切りかえをしっかりと！！

### 締め切り期限は守っている

→「締め切り」を守ることは学校だけではなく、社会全般で求められることです。例えば、みなさんの成績を出す際に成績データの入力締め切りがあります。それに間に合わせるために、先生方は課題の提出締め切りを設定して課題をチェックして成績をつけます。課題の提出が間に合わなければ、課題を成績に入れて評価してあげることはできません。また、社会に出ると「締め切りを守る＝信頼される」、逆もしかりです。忘れ物が多い人は、「メモをとる」習慣を身につけて締め切りを守るようにしていきましょう。

### 規範意識をもち、校則やルールを守っている

→「注意されないからいいや」「見つからなければいいや」という考えでは成長はのぞめません。

制服は私服ではなく柏崎常盤高校の定めた服です。スカートを折り曲げたりしないで正しい着こなしをしてください。また、スマートフォンの使用は校内では禁止です。学校生活ではスマホから離れて、友人の顔を見て、会話を楽しんでください。

#### □ 平日2時間、休日3時間の家庭学習時間を確保している

→5月にとった進路希望調査の結果をみると、進学希望者が多数を占めています。スタディサポートの結果から、常盤高校1年生の平均学習時間は平日1時間10分、休日2時間1分で、全国の大学進学希望の生徒平均と比較すると30分程度短く、みなさんの希望する進路実現にはまだまだ努力が必要です。しかし、これからの自分の取り組み次第で、学力は十分に伸びます。今は土台となる基礎基本を身につける時期です。3年生になってから慌てるのではなく、今日から平日2時間を目指してコツコツと学習に取り組みましょう。「勉強をやらされている」と思いながら勉強しても力はつきません。自分の将来を思い描き、自分の将来のために、主体的に学習に取り組みましょう。

### 【中間考査の振り返りをしよう】

中間考査の結果が返却されました。今回はどの科目も平均点が高かったようです。みなさんが一生懸命学習に取り組んだ結果であると思います。ただ、今回はテスト範囲が短いこと、中学校時代の知識で解ける問題が比較的多かったことも事実です。今回の結果に満足して油断することないようにしましょう。また定期考査の目的は、自分がどの分野を、どの程度理解しているかを知ることです。出来なかった問題は必ず見直しをして解けるようにしましょう。苦手分野の克服につながります。

### 【科目選択について】

6月20日に来年度の選択科目希望調査票の提出となります。今回の選択は、進路希望や受験科目などに関わる大切なものです。進路がある程度定まっている人は、希望する進路についてしっかりと調べ、どの科目を選択するのがベストか判断してください。進路が未定の人は、スタディサポート・適性診断結果や自分の興味関心などから自己分析をして自分の適性を見極めてください。適性がない分野を選択すると、将来苦勞する可能性もあります。体育祭後、科目選択について担任と面談をします。進路は自分一人の意向で決めることはできない部分があるので、家族と話し合いをしてください。

### 【80人80色】

1学年は異なる性格・個性をもつ「80人80色」の集団です。集団生活を送るなかで、自分の気持ちや思いが大切であると同様に、相手の気持ちや思いも大切です。自分の思いをはっきりと表現する人もいれば、周りに気を遣って表現を控える人もいます。相手の気持ちを察し、相手の立場に立って考え、相手の思いを尊重することを心がけてください。4月の面談週間で、みなさんは「困っているのかなあ」「辛くないかなあ」と周囲の人の気持ちを察してあげる優しい心をもっているなあと感じました。とても素晴らしいことです。その優しい心を大切にしてください。

## 【人権学習から】

5月24日の人権学習では、「身近な人権問題に目を向け自他の尊重を考えよう」を主題に「高齢者の人権」を取り上げました。以下はみなさんのワークシートからの抜粋です。

- ・今まで不自由なく出来ていることが思うように出来なくなっていく上で、高齢者がたくさんの苦勞をしているんだと感じました。高齢者に接するときは、相手が求めているもの、求めていることを少しでも察して正しく接することができるようにしたいです。
- ・高齢者の気持ちを考えることが大切だと思いました。出来ることを奪うのではなく、「一緒に～しよう」とできる幅を増やすように接していきたいです。
- ・自分の価値観や基準で考えたり話したりするのではなく、高齢者の立場にたって考えることが重要だと再認識できた。高齢者も自分も同じ人間で、お互いにできないことはあるので助け合いたい。
- ・今日の授業で自分の祖母と重なることが多くて、自分の祖母もこう思っているのかなと考えるいい時間になりました。これからもなるべく話す機会をつくりたい。疑問形にすると会話が続くと思いました。
- ・高齢者の人権は、他の問題よりスルーされることや気がつかないことが多いと思います。資料3の「高齢者にだって幸せに生きる権利はある」という文を見て、当たり前なことだけれど大事だと思いました。相手への配慮の仕方も工夫していく必要があることが分かりました。
- ・本人に聞いてもあまり本音を言ってもらえなくて気持ちが分からないときもあるけれど、自分たちの配慮が逆に本人にとって楽しみのない生活にしてしまうこともあって難しいと感じました。

★以下は、授業で読んだ詩の一部抜粋です。

老いるということ	親が老いていくということ
親が老いていくということ	それは、歩行や食事が遅くなったり
それは、何度も同じ話をするという	トイレに失敗したときでも
何度も同じことを訊いては、	子どもにだけは怒鳴られたくない
あなたを苛々させるということ	怒られたくはないということ
親が老いていくということ	老いるということ
それは、歩くのが遅くなるということ	親が老いていくということ
膝や腰が常に痛いということ	それは、言葉が咄嗟に
親が老いていくということ	出なくなってくるということ
それは、自信がなくなるということ	言葉が出なくなっても、
自信がなくなるけど、	心の中に想いはちゃんとあるということ
子どもにだけは強がっていたいということ	親が老いていくということ
親が老いていくということ	それは、不安である分、
それは、トイレが近くなること	あなたのことが気がかりだということ
夜中にトイレで起きるということ	あなたの電話を待っているということ
尿道も肛門もゆるむから	声が聴きたいと願うこと
ふとしたときに漏らすということ	

「親の『老い』を受け入れる～下町医師とつどい場おばはんが教える、認知症の親をよくする介護」  
長尾和弘×丸尾多重子 ブックマン社（平成28年1月）より